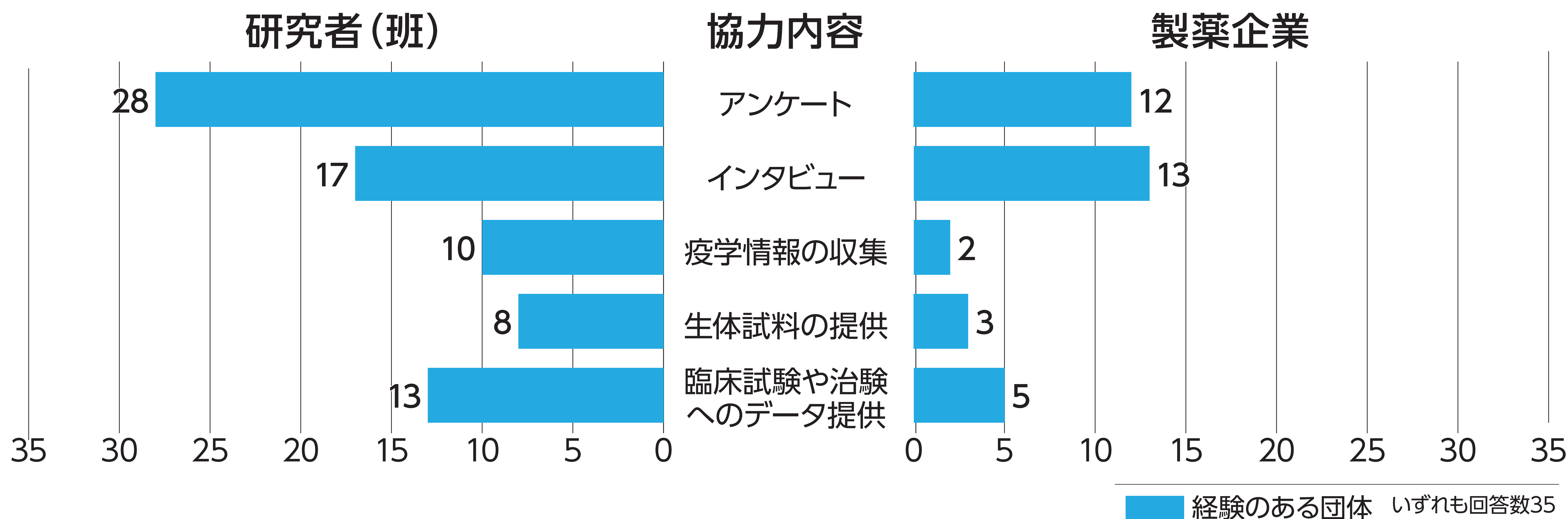


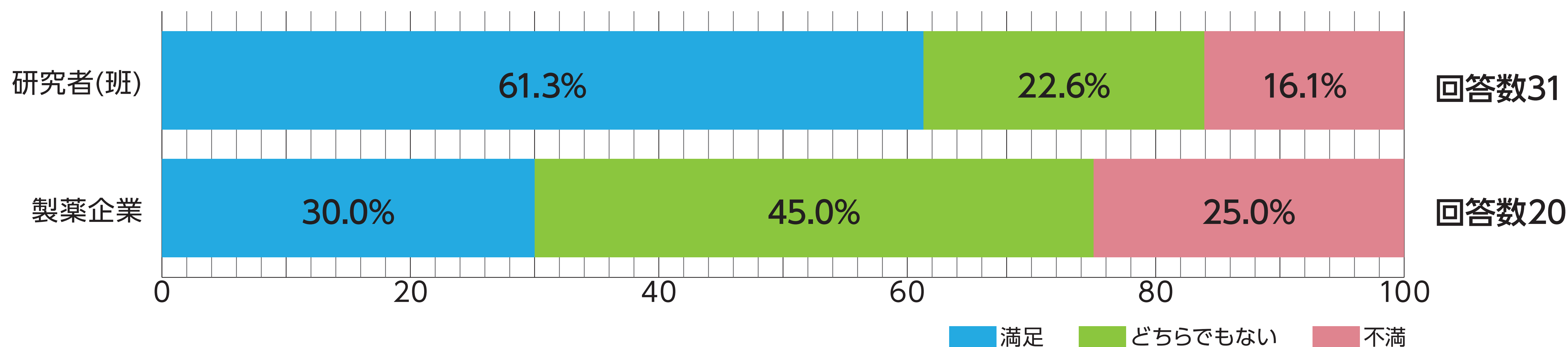
患者団体からみた研究者(班)・製薬企業の協力関係についてのアンケート調査結果 2/2

患者団体からみた研究者(班)・製薬企業との協力内容の比較



患者団体は製薬企業よりも研究者(班)と協力をおこなう頻度が高い

協力関係の満足度と患者団体からの声



研究者(班)に対する声

“研究者からPPI(患者・市民の研究参画)の機会提供があり、患者会の会員側にも「自分も研究に参加している」意識が強まっている”

“患者からの一方的なデータ提供ではなく、研究の進捗状況と結果の報告をお願いしたい”

製薬企業に対する声

“この2~3年で企業側から患者との協働、理解の取り組みの声かけをいただくようになり、製薬業界の雰囲気の変化を感じる”

“折角の協業事業から得たことは、製薬企業の独占にせず、協力した患者会にむしろ積極的に開示して頂きたい”

こちらの調査はまだ回答を募集しています！
難病に関連する患者団体・地域協議会の皆さま、
右の二次元コードから回答のご協力をお願いいたします。



本調査の結果をもとに、
「希少・難治性疾患関連研究協力・連携ガイドライン(第四版)」
を作成し、関係者に自由に利活用いただけるようにします。



第三版はこちら